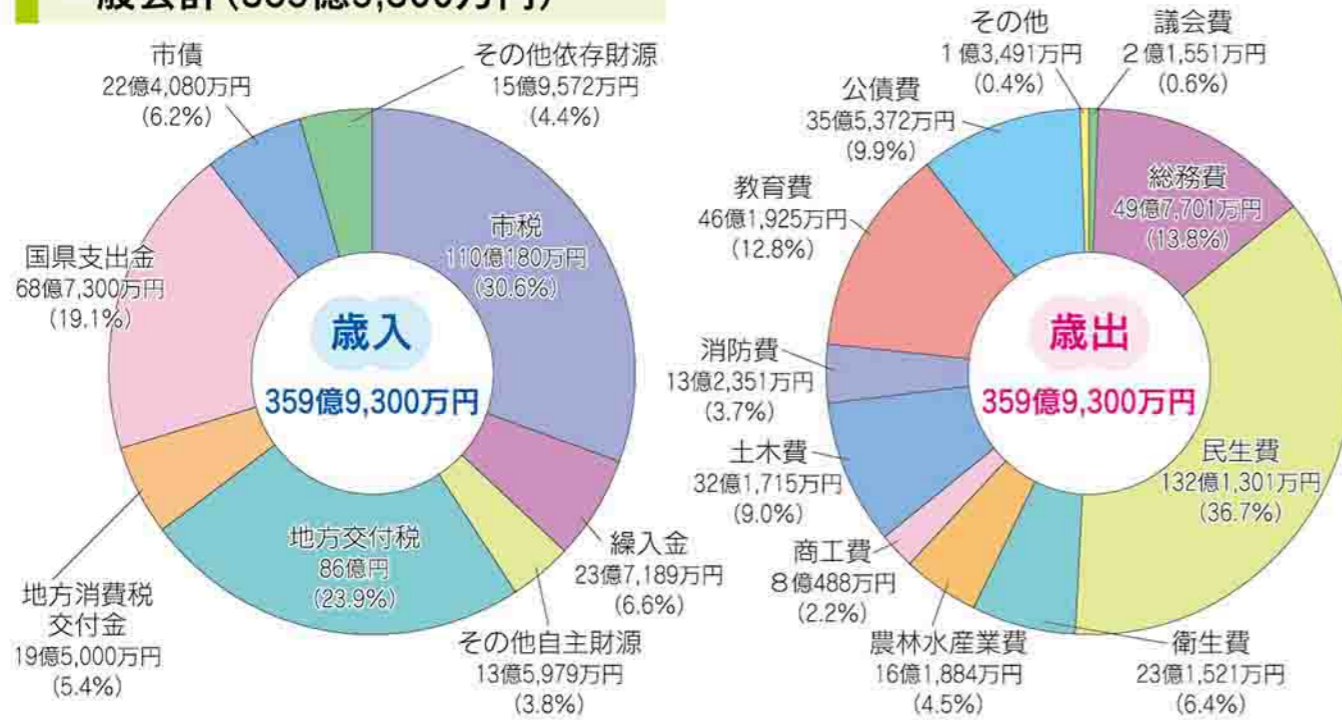


令和6年度予算概要(総予算規模640億5,501万円)

本市の会計は、市の基本的・中心的な会計となる「一般会計」と、保険料や水道料など、特定の収入で事業を実施する「特別会計」および「公営企業会計」に分かれています。それぞれの予算の詳細は、下記のとおりです。

一般会計(359億9,300万円)



特別会計(198億6,586万円)

会計名	令和6年度予算額	令和5年度予算額	前年度対比	
国民健康保険特別会計	90億8,860万円	88億5,801万円	2.6%	
内訳	(事業勘定)	90億8,498万円	88億5,351万円	2.6%
	(診療施設勘定)	362万円	450万円	-19.6%
後期高齢者医療特別会計	13億8,417万円	12億7,144万円	8.9%	
介護保険特別会計	91億9,602万円	90億9,837万円	1.1%	
農産物直売事業特別会計	222万円	250万円	-11.2%	
伊香保温泉観光施設事業特別会計	1億7,696万円	1億7,649万円	0.3%	
小野上温泉事業特別会計	770万円	1,939万円	-60.3%	
交流促進センター事業特別会計	1,019万円	1,578万円	-35.4%	

公営企業会計(81億9,615万円)

会計名	令和6年度予算額	令和5年度予算額	前年度対比
水道事業会計	30億9,481万円	31億5,273万円	-1.8%
下水道事業等会計	51億134万円	52億7,441万円	-3.3%

会計	予算額	前年比(%)
一般会計	359億9,300万円	5.2
特別会計	198億6,586万円	2.2
公営企業会計	81億9,615万円	-2.7
総予算規模	640億5,501万円	3.2

新年度予算は、地域の活力を維持し、誰もが自分らしく暮らしていける社会を実現するため、全庁一丸となって、選択と集中による予算配分に取り組みました。

その結果、令和6年度一般会計予算の規模は、359億9,300万円で、前年度比5.2%の増額となりました。

「誰もが自分らしく輝ける共生社会の実現」、「健康で快適な市民の暮らしを実現」、「産業振興や情報発信で人を呼び込むまちを実現」、「効率的な行財政運営で持続可能な市民サービスを実現」の4本の柱を基本として編成した『新未来創造・育都実現予算』についてお知らせします。

詳しくは、本財政課(☎22414)へ。

令和6年度当初予算の概要

『新未来創造・育都実現予算』

一般会計総額359億9300万円

3 産業振興や情報発信で人を呼び込むまちを実現

地域ブランドの発信

新ふるさと応援寄附金の促進と地域のブランド力向上のため、市内企業と連携し、体験型などの新たな返礼品を開拓(2億2,203万1千円)

JR 渋川駅を核としたにぎわいの創出

新渋川駅前広場を活用したにぎわいの創出や地域の活性化を図るための事業提案と実施者を公募し、事業実施者に補助金を交付(822万円)

観光資源を活用した 観光プロモーションの推進

新本市を舞台イメージとして描かれるアニメを活用したプロモーションを実施(221万円)

魅力ある産業創出に向けた掘り起こし

拡市内で創業する人に、創業費用の一部を助成することで創業へのチャレンジを支援。詳細は14ページ参照(550万円)

拡遊休農地の再生利用の補助要件を緩和し、解消に向けた取り組みを促進することで、農業振興の地盤づくりを推進。詳細は11ページ参照(47万5千円)



選んでもらえるまちの実現

新市内の中小企業などに正規雇用された高校生や大学生に渋Payポイントを付与(467万1千円)

4 効率的な行財政運営で持続可能な市民サービスを実現

未来戦略の推進

新市民とともに未来について考える「しぶかわ未来共創推進会議」の実施や、まちづくりに資する講演会等を開催する団体などを支援(176万2千円)

コンパクトシティの推進

継JR 渋川駅前広場の利便性を向上し、よりよい景観形成を図るため、メインシェルター設置工事を実施(9,628万2千円)

DXの推進

拡スマートフォン体験教室やよろず相談会を引き続き実施。また、セグメント配信、オンライン申請、オンライン予約、通報機能の実装など、市公式LINEの機能を拡充し、「スマホ窓口」の開設により利便性を向上(1,027万6千円)

SDGsのゴールを目指すまちづくり

拡事業者や生産者等と連携し、小・中学校で食品ロス削減に関する講座などを実施するほか、市公式LINEを活用し、食品ロス削減につながるアイデアコンテストを開催(16万円)

拡2050カーボンニュートラルなど循環型社会を目指していくプラスチック資源循環法の趣旨を踏まえ、プラスチックの分別回収を開始(2,586万2千円)



持続可能な地域づくりを応援

継地域コミュニティの維持や活性化のための中心的な担い手である自治会の活動について、業務の負担軽減に取り組むとともに活動の効率化を支援

令和6年度の主な取り組みを4本の柱ごとに紹介します

新・・・新規事業
拡・・・拡充事業
継・・・継続事業



令和6年度
予算の詳細
はこちら

1 誰もが自分らしく輝ける共生社会の実現

女性活躍や男女共同参画を推進

新「渋川市男女共同参画及び多様性を尊重する社会を推進する条例」の理念実現のため、市民意識調査やワークショップなどを実施(362万円)

新保育の希望に柔軟に対応する「こども誰でも通園制度」の創設を見据え、渋川幼稚園において試行的な取り組みを実施(747万8千円)

住む人も訪れる人も 誰もが安心できる社会の実現

新地域おこし協力隊によるインバウンド対応の強化などを実施し、誰もが安心して訪れることのできる観光地づくりを推進(822万7千円)

市民の安心・安全を守る取り組み

継災害時の道路交通を確保するため、身近な生活道路の拡幅整備工事を実施(4,176万4千円)

子どもたちの成長を見守り 誰もが輝けるまちづくり

新相談体制の充実と、ヤングケアラーへの支援のため「こども家庭センター」を新設。詳細は8ページ参照。また、不登校などへの支援を行う「校内教育支援センター」を小・中学校それぞれ1校に設置(1,354万円)



2 健康で快適な市民の暮らしを実現

子育て・教育環境の充実

新ひとり親家庭などの子ども(高校・中学3年生)を対象に、受験料や模擬試験の費用について本市独自に上乗せを行った上で支援(730万9千円)

拡小・中学校の適正配置について、広聴会など、多角的に検討するための取り組みを実施(45万9千円)

健康寿命延伸に向けた取り組み

拡「わかば健診」の受診率向上を図るため、市公式LINEによる健診予約を開始(296万円)

拡各種がん検診の継続実施に加え、40歳の人に、胃がん検診の自己負担額が無料になるクーポンを発行(8,561万1千円)

暮らす人に優しいまちづくり

新聴力の低下で、日常生活に支障を来している65歳以上の高齢者に、補聴器の購入費用の一部を助成。詳細は9ページ参照(195万円)

住み続けることに 幸せを感じられるまちづくり

新県外の大学などへ、本市から公共交通機関を利用して通学する学生に、定期券購入費用の一部を助成(540万円)

新渋Pay1%応援金を活用し、児童・生徒の意見や、それぞれの学校の特色を生かした、魅力ある学校づくりのための備品などを整備(690万円)

